

本当の愛が知りたい

これまでに記してきましたように、私達人間の本質は、肉ではなく、意識ですというのが本当のことです。

私達には、生まれてきて死んでいくという転生があります。そして、一度転生をしてくれば、それがひとつの過去世になります。

従って、数え切れないほど転生をしてきた私達人間には、それぞれ数え切れないほどの過去世があるのです。

その過去世達に共通するものは、自分の本質が意識であることを知らなかったことです。

今世の今という時間の中で、私達は、初めて、「肉ではなく、意識だよ」と、はっきりと知らされたのです。

もちろん、私は、今、そのことを、ただ情報として得ているのではなくて、自分の心ではっきりと感じています。

ずっと長く、肉、形を本物としてきた私の過去世達の思い、つまり、私自身の思いを、少し聞いてください。

「私は、自分自身を形あるものと思い込んできました。

そこから、ずっと、愛を探し続けてきたのです。

自分の心を満たしてほしいと、愛、優しさ、温もりを貪欲に求め

てきました。

だけど、求めても、求めても愛は分かりませんでした。

正確に言えば、自分を形あるものとしてとらえていたから、愛が分からなかったということが、分からなかったということです。

だから、愛は、最終的に、私を裏切っていったと思い続けてきたのです。

そして、もうひとつ、私の誤りは、愛は無償だということが、信じられなかったことです。

いつも、見返りを求めていました。

形を本物とする心の中には、必ず、ギブアンドテイクのテイクの部分があると思います。

ギブが小さくて、ほとんどなくて、あるいは全然なくて、テイクばかりを期待する。期待するから、それに反すれば、たちまち「憎」の部分が出てくる。形の世界の中での愛は、みんなそのパターンだと言えるのでしよう。

その一方で、時には、献身的に愛を捧げてきたこともあったこと
でしよう。

我が身を捧げ、我が命を捧げ、忠誠を誓った愛の中に生きてきた
こともありました。

しかし、その結果もまた散々なものでした。

いずれにせよ、みんな偽物の愛だったからです。」

ところで、あまねく人達に幸あれと、神に祈り続けてきた愛の身体を、あなたはご存じでしょうか。

私は、祈って、願って、幸を求めることの愚かさ、空しさの中に、自分を沈め、神を呪い、神を恨んできた愚かな自分を知りました。

これだけ祈り続けてきたのに、これだけ忠誠を誓い、何もかも捧げてきたのに、私の求めるものは、何一つ与えられることはありませんでした。

いいえ、何一つ与えられるどころか、私から奪い取っていく現実を目の当たりにしたことも、数多くあったことでしょう。それでも、なかなか目が覚めませんでした。

幸せがほしい、幸せになりたい、そのように願いを込めることが、

なぜ、間違いなのか分かりませんでした。

今も、なぜ、間違いなのか分からない人達はたくさんおられると思います。

人は、一様にして、次のような思いを発しているのではないでしょうか。

「私達には、そんな大それた望みはありません。

ただ、家族の幸せや安泰を望んでいるだけなのに、ささやかな幸せを望むことが間違いなのでしょうか。

なぜ、それがいけないことなのでしょうか。

なぜ、それが欲なのでしょうか。」

あなたは、幸せがほしい、幸せになりたいと願いを込める先にあるものは何だと思えますか。

それは、本当の愛を知りたいと探し求めることについても、同じことが言えると思います。

幸せがほしい、幸せになりたいと願いを込めることも、愛を探し求めることも、それ自体が、間違いだったのです。

本当の愛が知りたいと探し求めるからには、本当の愛を受け取るという感覚がありませんか。

みんな、自分の外からやってくる、外にあるものを自分の中に入

れようとする、そのような感覚がありませんか。

また、過去世が語っているようです。

「そうです、私は、ずっと、愛を自分の外に求めてきました。

ひたすらに、一心に祈れば、思いは必ず成就する、思いは叶えられることを信じてきました。

それが高じれば、念というエネルギーに変わっていくことも体験してきたのです。

私にとって、愛とは生易しいものではありませんでした。

本当の愛を知らない心には、愛とは恐ろしい生物いきもののように感じて

きたことも事実です。

念じて呪い殺すエネルギーは、自らもまた滅ぼしていくことを何
度も体験してきました。」

様々な体験を経て、それでも、本当の愛が知りたいと、自らに肉
体を持たせてきた現実があります。

それほどまでにして、愛が知りたいということはどういうことな
のか、何度、自滅しても、また、自分に肉体を持つことを請う思い、
そのエネルギーは、いったいどこから来るのか、長く、ずっと長く、
心に留めてきた疑問でした。

肉ではない私達だった、私達には形がないということ、心で知

って、ようやく、愛が知りたいと叫び、貪欲に求めてきた訳が分かります。

長く心に留めてきた疑問が解け始めています。

間違った愛を求め続けてきたけれど、そして、それで何度も自滅してきたけれども、それがあったから、ああ、私は、本当の愛、つまり本当の自分を探していたことを知ったのです。

私自身が愛だったことを知りました。